

お宅のブロック塀は大丈夫ですか？

平成30年6月18日に大阪府北部で発生した地震では、小学生が倒れたブロック塀の下敷きになって亡くられました。平成28年4月に発生した熊本地震など、過去に発生した地震においてもブロック塀の倒壊により、多数の死傷者が出ています。

正しく施工されていないブロック塀や、老朽化したブロック塀は、地震時に倒壊して、通行人に危害を及ぼすおそれがあるだけでなく、避難・救援活動の妨げになる可能性がありますので、日ごろから所有者の責任による適切な管理が必要です。

主なチェックポイント

気になる点が一つでもあれば、建築士などの専門家に相談しましょう。

- 塀の高さは、地盤面から2.2メートル以下（ブロック10段程度）ですか？
- 塀の厚さは、10センチメートル以上ですか？（塀の高さが2メートルを超え、2.2メートル以下の場合は15センチメートル以上）
- 塀の長さ3.4メートル（ブロック8個程度）以下ごとに控壁（ひかえかべ）がありますか？（塀の高さが1.2メートル以下の場合は控え壁がなくてもよい。）
- コンクリートの基礎はありますか？
- 塀が傾いていたり、ひび割れていたりしていませんか？
- 鉄筋が、縦横とも80センチメートル以下の間隔に入っていますか？

岐阜県中濃建築事務所 0574-25-3111（内線333）

美濃加茂市役所建設水道部都市計画課 0574-25-2111（内線254）